SONY

2-109-711-**01** (1)

お客様・販売店様・特約店様用

壁寄せスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ
プラズマテレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

この壁寄せスタンドは、ソニー製の下記指定機器専用です。指定機器以外にはお使いにならないでください。
棚板には、メディアレシーバーやDVDプレーヤー、ビデオデッキなどを収納するように設計されています。

指定機器（2004年4月現在）

フラットパネル デジタルテレビ	KDE-P42HX2 KDE-P50HX2 KDE-P55HX2 KDE-P42HX2N KDE-P50HX2N KDE-P61HX2 KDE-P42HZ1 KDE-P50HZ1 KDE-P61HX2N
液晶デジタルテレビ	KDL-L42HX2

壁側に寄せて設置する
壁寄せスタンドは、壁側に寄せて使用することを目的として設計されています。転倒による事故を防ぐため、壁寄せスタンドは、必ず壁側に寄せて設置してください。
指示

SU-HXL

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、右のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号			行為を禁止する記号	行為を指示する記号
火災	感電	注意	禁止	指示

お客様へ

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・転倒・落下**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けや設置作業は専門業者が行う

ディスプレイは大変重いので、落下や転倒により打撲や骨折など大けがの原因になります。
取り付けは専門業者にご依頼ください。

注意

転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、スタンドが転倒し、けがの原因となることがあります。メインブラケット上部の転倒防止金具にひもやクサリなどを通して壁や柱などにつなぎ、転倒防止の処置を行ってください。

注意

堅くて平坦な床面に設置する

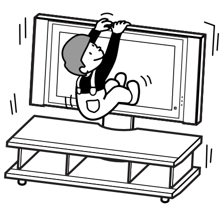
傾いた床面に設置すると、スタンドが転倒したり、収納している機器が落下したりして、けがや破損の原因となることがあります。

禁止

壁寄せスタンドにディスプレイを載せた状態で、ぶら下がらない

スタンドが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。

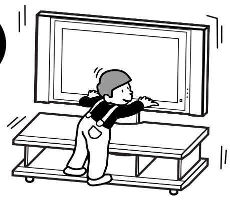
禁止



棚板の上に乗ったり、棚板の間に入って遊ばない

お子様が棚板の上に乗ったり、棚板の間に入って遊んだりすると、棚板が割れる、スタンドが転倒する、ディスプレイが落下するなどの事態が発生し、大けがや死亡の原因となります。

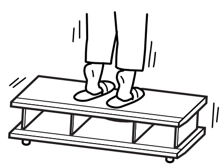
禁止



踏み台にしない

スタンドが倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

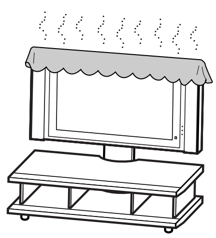
禁止



ディスプレイの通風孔をふさがない

ディスプレイの上に布をかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

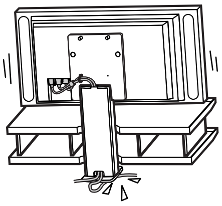
注意



ディスプレイや収納機器のコードをはさまないようにする

- ディスプレイなどを壁寄せスタンドに載せるときは、電源コードをはさみこまないようにする。
- 壁寄せスタンドを動かすときは、電源コードを踏まないようにする。
  コードに傷がついて火災や感電の原因となります。

禁止



取扱説明書で指定された方法で移動する

誤った方法で移動すると、スタンドが転倒したり、ディスプレイが落下して、けがの原因となることがあります。

注意

電源コードおよびディスプレイケーブルを足でひっかけない

スタンドが転倒し、けがの原因となることがあります。

注意

ディスプレイや機器を設置、収納したまま移動させない

設置したまま移動させると、腰を痛めたり、スタンドが転倒して、けがの原因となることがあります。また、棚板が割れたり、機器が落下して、破損の原因にもなります。

禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定のテレビ機器以外のものを載せない

- この壁寄せスタンドは指定のディスプレイ専用です。指定外のディスプレイや重い物を載せると、すべって落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 指定の機器以外のもの（陶器や花瓶など）は置かないでください。

禁止

はずれ防止ネジは必ずつける

付属のはずれ防止ネジでディスプレイを壁寄せスタンドに固定してください。固定しないと、スタンドが転倒したり、ディスプレイが落下して、けがの原因となることがあります。

注意

設置上のご注意

- 組み立てるときは、床に傷がつくのを防ぐため、梱包材などを敷いてください。
- 設置場所は、堅くて平坦な面にしてください。設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
  — 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
  — 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
  — 高温多湿の場所や屋外に置かない

使用上のご注意

お手入れをする際には、やわらかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5〜6倍に薄め、やわらかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

これ以降の取り付け•設置手順は販売店様•特約店様用です。 販売店様•特約店様用

先に示した安全上のご注意をよくお読みの上、取り付けや設置、保守、点検、修理などを安全に行ってください。

設置は2人以上で行う

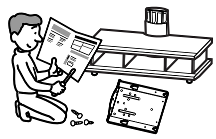
ディスプレイを壁寄せスタンドに設置するときは、2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。

注意

組み立て手順に従って、しっかりと組み立てる

ネジがゆるんでいたり抜けていると、壁寄せスタンドが傾いて転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

注意



組み立てるときには、手や指を傷つけないように注意する

壁寄せスタンドを組み立てるときや、ディスプレイを取り付けるときには、手や指を傷つけないようにご注意ください。

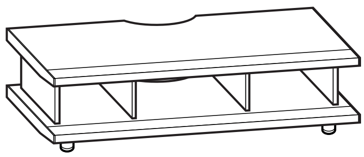
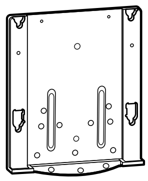
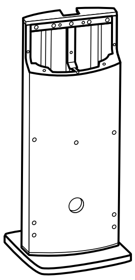
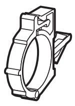
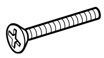
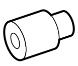
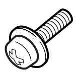
注意

取り付け手順に従って、ディスプレイをしっかりと取り付ける

ネジを確実に締めてください。ディスプレイがしっかり取り付けられていないと、ディスプレイが落下し、けがの原因となることがあります。

注意

手順1：部品を確認する

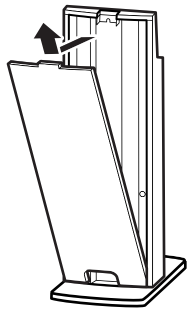
名　称	数量	名　称	数量
本体 	1	メインブラケット 	1
支柱 	1	ケーブル留め 	1
		M6ネジ（長） M6 × 90 mm 	4
		皿ネジ M6 × 20 mm 	10
		M6ネジ（短） M6 × 50 mm 	3
スペーサ 	3	はずれ防止ネジ 	2
		M6ネジ用ワッシャー 	7

組み立てる前に上記ネジに合った⊕ドライバーをご用意ください。

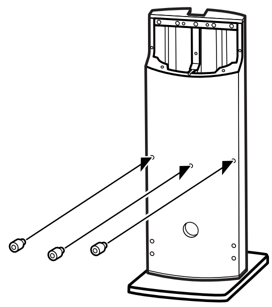
手順2：本体に支柱を取り付ける

1 **支柱の後面からケーブルカバーをはずす。**

カバーの上側を引っ張り、上にずらす。



2 **支柱の前面の穴にスペーサ（3個）を差し込む。**

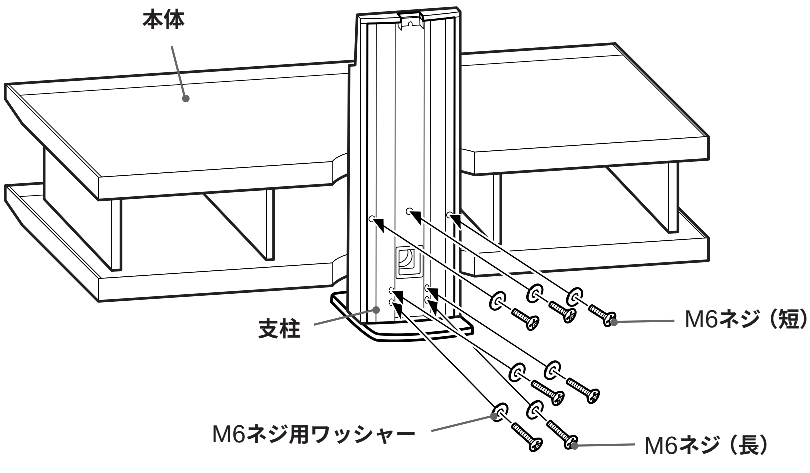


3 **支柱と本体のネジ穴を合わせ、図のように上部3点をM6ネジ（短）で、下部4点をM6ネジ（長）で、間にM6ネジ用ワッシャーを入れてから固定する。**

作業は2人以上で支えながら行ってください。
7本のM6ネジで一度仮留めをしたあと、しっかり締め直してください。

⚠注意

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2.45 N·mに設定してください。インパクトドライバーは使わないでください。
インパクトドライバーや指定外のトルク設定をした電動ドライバーを使用するとネジを過大なトルクで締め付けることになり、部品やネジを破壊し、製品が落下してケガの原因となります。



手順3：支柱にメインブラケットを取り付ける

メインブラケットと支柱のネジ穴を合わせ、皿ネジ（10本）で固定する。

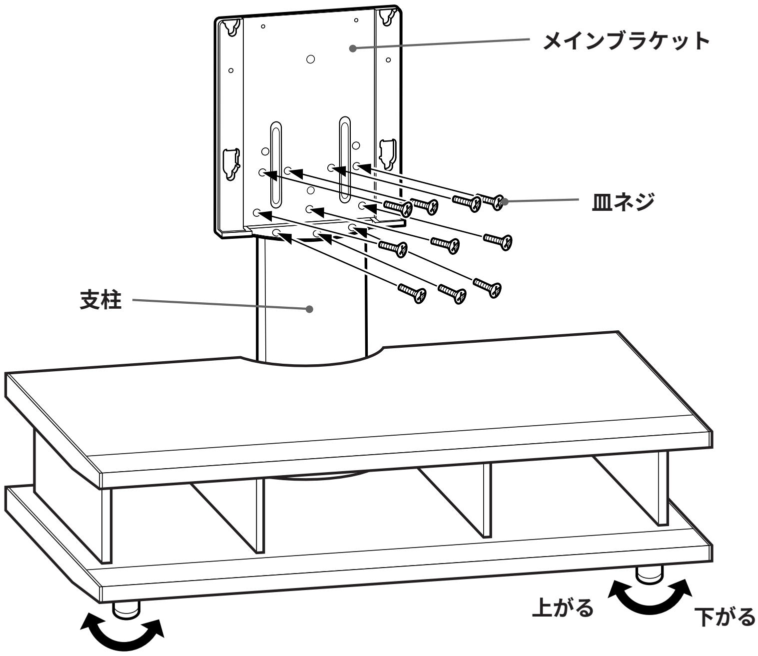
作業は2人以上で支えながら行ってください。
10本の皿ネジで一度仮留めをしたあと、しっかり締め直してください。

ご注意

支柱をしっかり支えて、安定させた状態で取り付けてください。

⚠注意

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2.45 N･mに設定してください。インパクトドライバーは使わないでください。
インパクトドライバーや指定外のトルク設定をした電動ドライバーを使用するとネジを過大なトルクで締め付けることになり、部品やネジを破壊し、製品が落下してケガの原因となります。



設置する床面が完全な平面ではない場合に、手前の足を回してそれぞれ高さを調節することができます。

ご注意

回しすぎると足が取れます。

手順4：ディスプレイを取り付ける

⚠警告　全ての作業が終わるまで、電源コードをコンセントにつながないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、コードが傷ついて火災や感電の原因となることがあります。また、電源コードやディスプレイを引っかけると、転んだりスタンドが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

1 ディスプレイを壁寄せスタンドに掛ける。

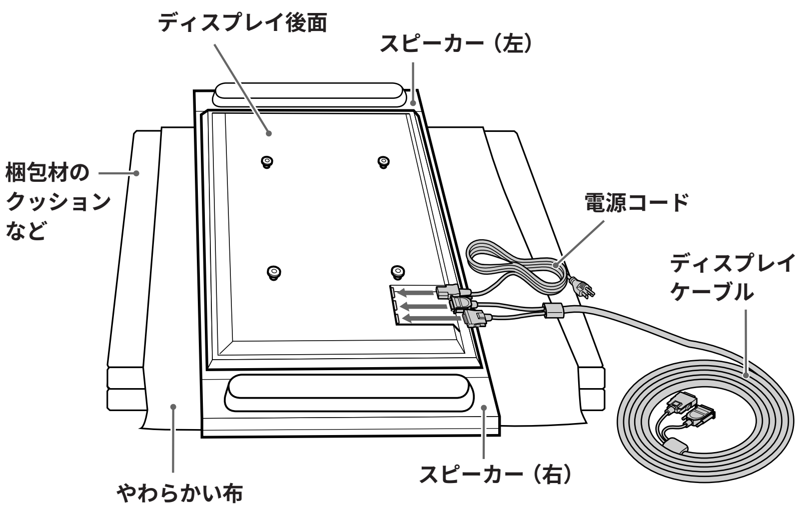
❶ ディスプレイに、付属の電源コードおよびディスプレイケーブルをつなぐ。

ちょっと一言

電源コードおよびディスプレイケーブルの接続については、フラットパネルデジタルテレビ（KDE-P42HX2/KDE-P42HX2N/KDE-P42HZ1/KDE-P50HX2/KDE-P50HX2N/KDE-P50HZ1/KDE-P55HX2/KDE-P61HX2/KDE-P61HX2N）、液晶デジタルテレビ（KDL-L42HX2）の取扱説明書をご覧ください。

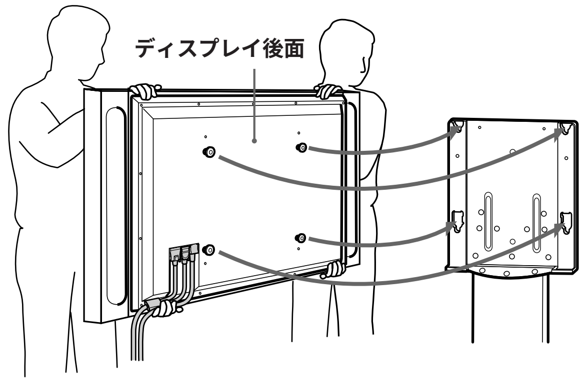
ご注意

- スピーカー部分にディスプレイの荷重がかかると、スピーカーの変形や接触不良の原因になります。以下のことにご注意ください。
  - ディスプレイを持ち運ぶ際は、スピーカー部分を持たないでください。
  - ケーブル類をつなぐ際は、梱包材のクッションなどを、床とディスプレイ面の間に置いて、スピーカー部分が触れないようにディスプレイを載せてください。
- 必ずディスプレイが安定するように置いてください。
- ディスプレイ面に傷や汚れがつかないように、やわらかい布などで保護してください。



※イラストは61インチモデルです。

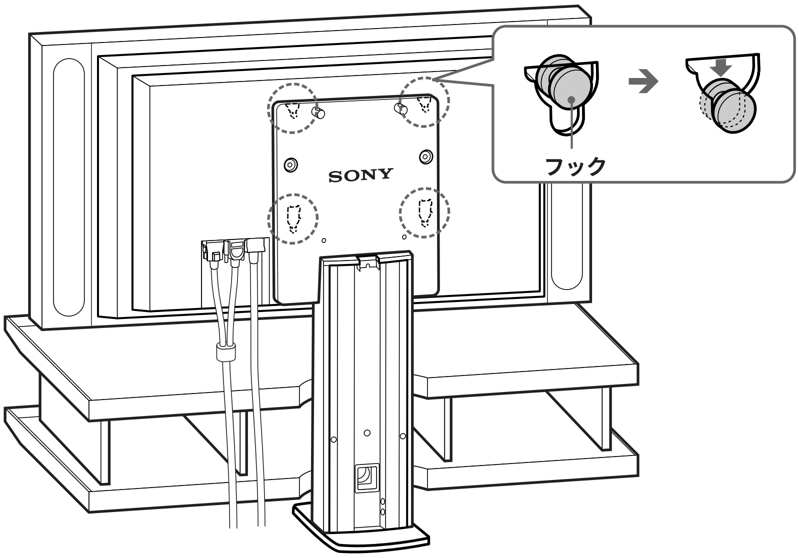
❷ ディスプレイの上下両端を2人以上で持って、ディスプレイ後面のフックをメインブラケットの穴に差し込み、4か所の穴に全てのフックが引っかかっていることを確認する。



❸ メインブラケットの穴に差し込んだフック
を、まっすぐ下におろす。

ご注意

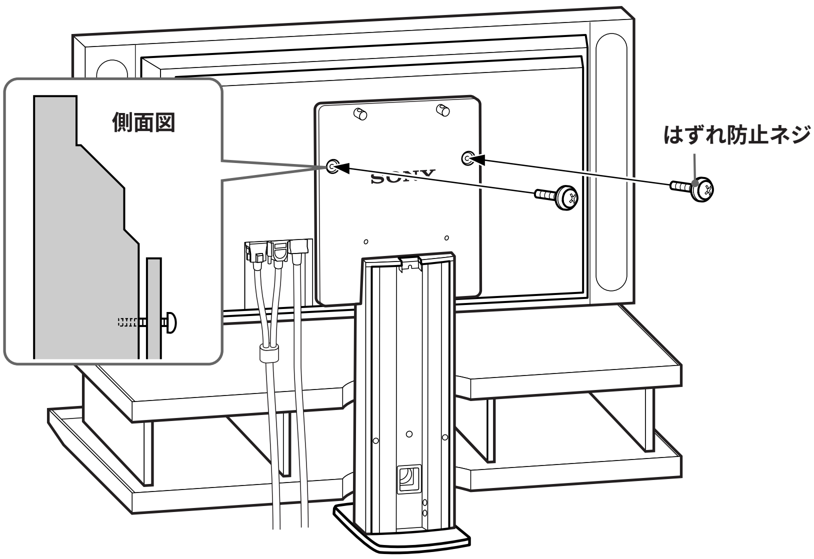
- ディスプレイは、穴の底までしっかりと差し込んでください。取り付け後は、ディスプレイが平行にかかっているかをご確認ください。
- ディスプレイを取り付けるときは、壁寄せスタンドが動かないように注意してください。



2 はずれ防止ネジ（2本）を使ってディスプレイを固定する。

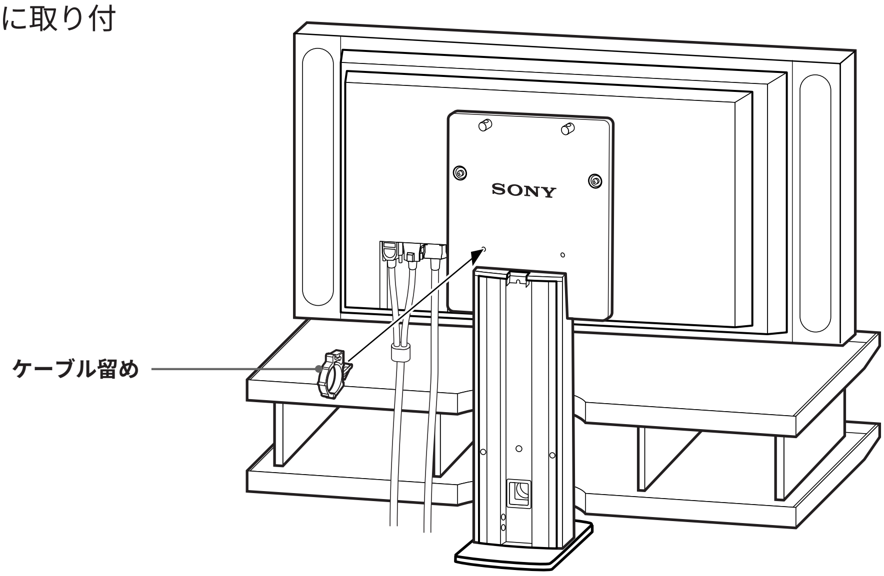
⚠警告

はずれ防止ネジ（2本）を使わないと、ディスプレイが落下し、けがの原因となることがあります。

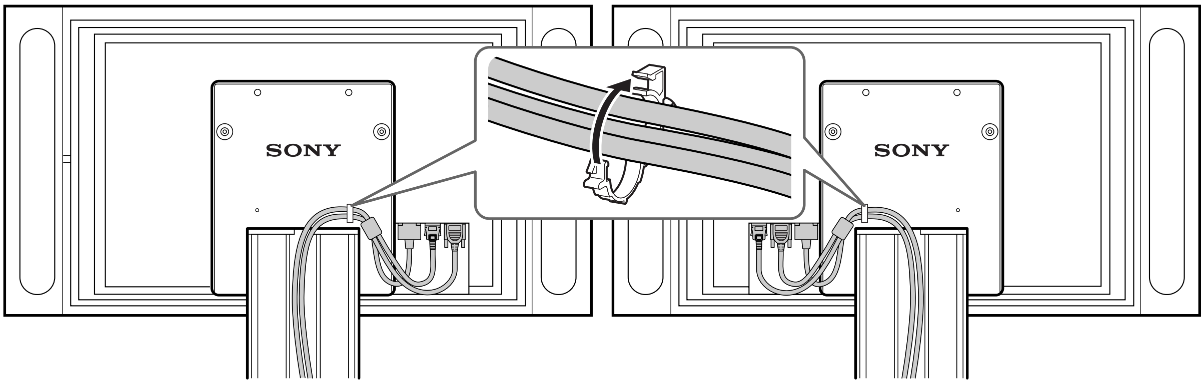


3 電源コードおよびディスプレイケーブルを固定する。

❶ ケーブル留めをメインブラケットに取り付ける。

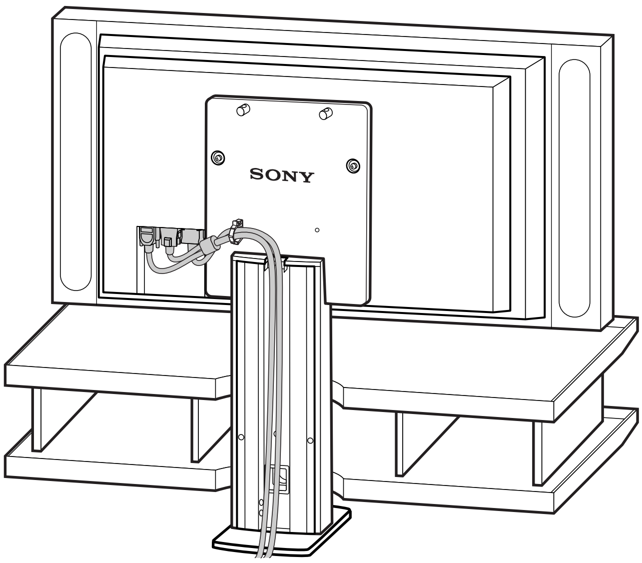


❷ ケーブル留めに電源コードおよびディスプレイケーブルを通して、コード類を留める。

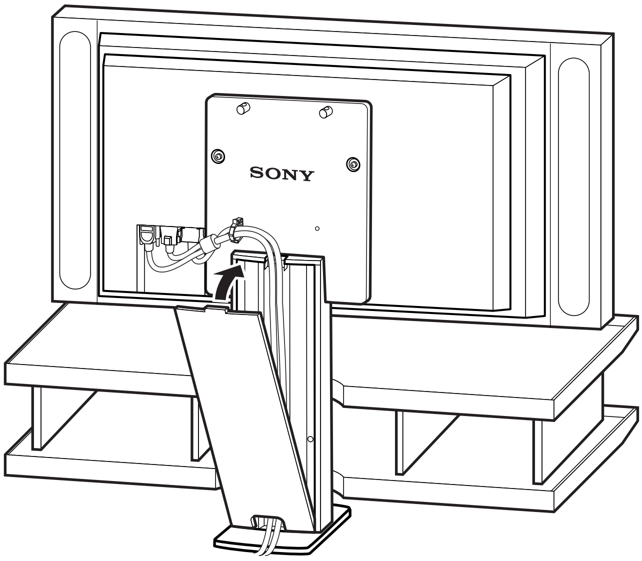


KDE-P55HX2

❸ 支柱内に電源コードおよびディスプレイケーブルを収める。



❹ ケーブルカバーを取り付ける。

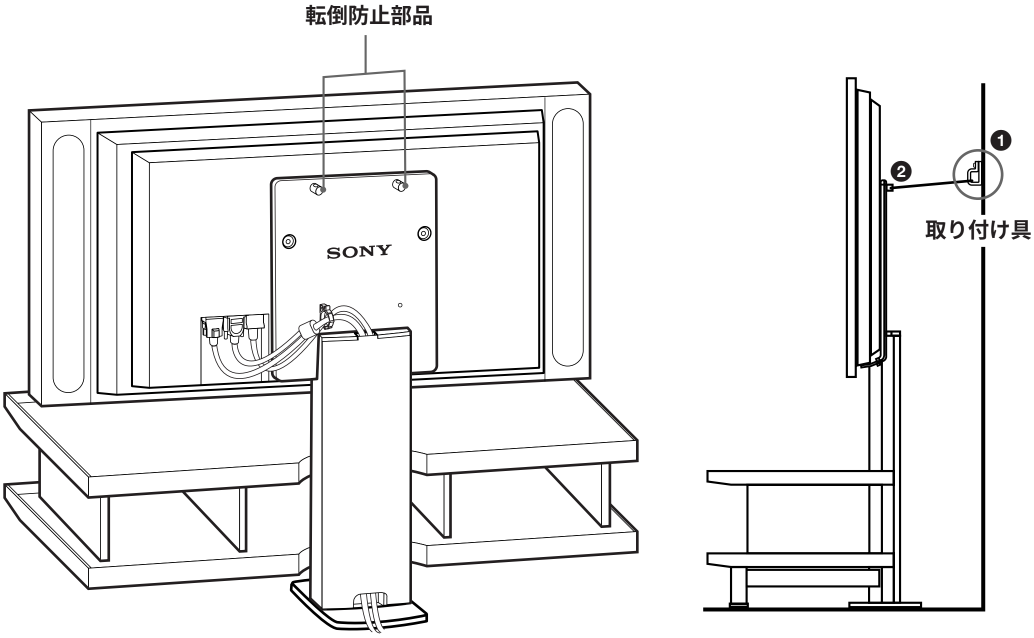


手順5：転倒防止の処置をする

⚠警告 転倒防止の処置をしないと、スタンドが転倒し、けがの原因となることがあります。スタンドと壁や柱などをつないで、転倒防止の処置を行ってください。

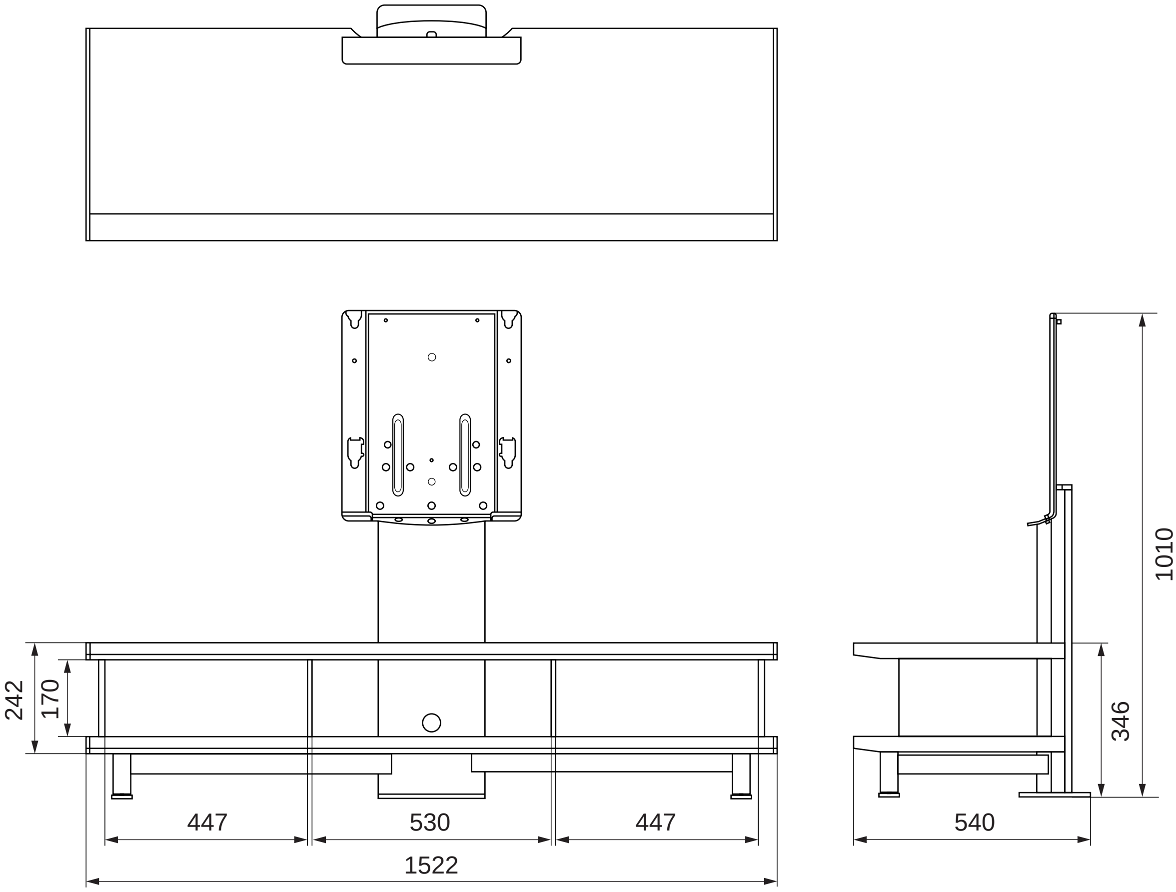
あらかじめ市販のひもまたはクサリと、壁につなぐための取り付け具をご用意ください。

❶ しっかりした壁や柱に取り付け具を固定する。
❷ 壁寄せスタンドの転倒防止部品にひもやクサリなどを通して、壁側の取り付け具にしっかりとつなぐ。



主な仕様

単位：mm
質量：45 kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ···················· 0466-31-2595
受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan